

第1学年 特別活動（学級活動）指導案

日 時 平成21年10月28日（水）6校時
学 級 第1学年 男子11名 女子8名 計19名
授業者 教諭 戸 部 一

1 題材名

「学級生活を見直そう」

2 題材設定の理由

（1）題材について

本題材は、学習指導要領特別活動〔学級活動〕の内容（1）「学級や学校の生活づくり」の
ア「学級や学校における生活上の諸問題の解決」にかかわるものである。〔学級活動〕の目標
である「学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけ
るよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生
活態度を育てる」ことにかかわる中心的な題材と考える。

中学校最初の1年間も折り返しを過ぎた。新人戦では選手として大会に参加し、生徒会役員
選挙の取り組みも終わった今、中学校で初めてとなる活動をほとんど体験してきたことになる。
これまで、学習、部活動、生徒会活動、学年の行事をとおして、徐々にではあるが、集団とし
ての活動の仕方が身につけ始めてきている。

そこで、本校の大きな行事である生徒祭を直前に控えたこの時期に、これまでの成果を確認
させ、後期の生活をよりよいものにしていこうとする態度を育てたいと考える。これまでの成
果に触れた後、さらに自分や自分の学級全体が伸びていくために必要なことは何かを考えさせ
たい。

学習指導要領「指導計画の作成と内容の取扱い」2の（1）では「よりよい生活を築くため
に集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動や自分たちできまりをつくって守る活動」の
充実の工夫も示されており、自分たちの実態をもとに、班での話し合い活動を含めて、学級の
話し合い活動の充実を図りたい。

（2）生徒について

中学校入学時に1名の転出があったが、小学校5年生の時から現在と同じメンバーの学級で
ある。

入学当初の様子では、互いの人間関係が固定化されていて、限られた生徒どうしで行動する
様子が見られた。人間関係が影響したためか、学級組織を決定する時になかなか立候補者が出
ず、グループごとに他のグループの生徒を推薦するような姿が見られた。その時の自分の気持
ちに流される傾向があり、説明されたことをスムーズに理解できる時とできない時の差が大き
かった。また、学習や活動における個人差も大きく、個別指導が必要な場面が多かった。

しかし、1学期の宿泊研修、2学期の生徒祭の取り組みなどをとおして、班での活動や係の
仕事をスムーズに進められるようになってきた。進んで仕事に取り組む生徒や周りに指示が出
せる生徒も、少数であるが出てきている。また、部活動や生徒会の委員会活動をとおして、活
動への意欲が感じられる生徒も増えてきている。

現在は、日常の学級の生活で自分の係活動を忘れて行わなかったり、他人にまかせっきりにな
ったりする生徒が見られるという課題がある。互いに呼びかけあったり、注意し合うという
習慣がまだ身につけていないものと思われる。

学級の話し合い活動では、一人ひとり自分の考えをもつことができるようになってきており、
全体の場でも進んで発言ができる生徒が増えてきている。2学期は、生徒祭の取り組みなど
について、短学活なども利用して議長指導や提案の仕方を中心に指導している。

スキルについては、1学期、あいさつを含め場にふさわしい話し方・聞き方ができることを
中心に指導した。2学期に入り、短学活を利用してスピーチやクイズ大会などを行い、日常的
にも重点として取り組んでいる。

(3) 指導について

話し合い活動については、日常的に、班単位にして小グループで話し合わせてから学級全体で話し合うようにしている。話し合いの中で意見を発表させるために、自分の考えを書いてまとめさせてから話し合いを行うようにしている。

生徒の実態を見ると、話し合いにおいて原案が出されると、それをそのまま「賛成」という傾向が見られるので、今回は、事前に行った「学級生活の振り返りのアンケート」の結果の報告と、何を話し合っていくかだけを学級執行部から発表させる形とした。自分たちの学級について、良さや課題を一人ひとりにしっかり考えさせたいためである。

班での話し合いの場面も設定しているが、班によっては話し合いの進行が円滑ではないところもあるので、机間巡視で支援していきたい。議長の生徒は、人前でも臆せずに話をするのでできるが、今回は、話し合いの方向性などについて教師が黒板書記を兼ねながら指導していく。

学級の課題について、生徒からは「忘れ物がある、話の聴き方がよくない、仕事を忘れてしない、家庭学習を提出できない」などが出されることが予想されるが、その改善策については、互いに呼びかけあう、注意しあうといった方向に向かわせたい。

これまで、生徒は友人関係が固定化されており、気の合う人だけと生活をするといった傾向が見られた。そのため、班の活動が円滑に行われぬ場面が多くあった。これからの中学校生活を考えると、この学級の1番の課題だと思われる。その解消はすぐにはできないと思われるが、互いに声を掛け合うことが大切であることに気づかせたい。そのため、事前に学級執行部と教師とで学級の課題の分析とその改善策について話し合いをもち、腹案を用意しておく。

(4) 研究にかかわって

今回は、班や学級全体での話し合いが中心となる。学習シートを活用しながら、何についての話し合いなのかを明確にとらえさせ、自分の考えを持つことができるように工夫したい。

班の話し合いでは、班員全員が発言できるように、進行の手順をパターン化させ、進行役の生徒が自信をもって行えるように日常から指導している。また、全体での発表に向けて、班の案のまとめについて机間巡視で支援をする。

本校がとらえる3つのコミュニケーション能力の中でも、「他者を理解する力」、「情報を伝える力」が中心となるので、聴き方、発表の仕方について、随時声をかけて意識させたい。

スキルを高めていくためにも、授業中の発表の仕方や聴き方について教師から評価し、褒めることを意識して行うとともに、授業の最後には、スキルに関して良かった人を生徒から挙げさせ、自信をつけさせていきたい。

3 指導計画

10月	6日(火)	放課後	これまでの学級生活の振り返りアンケート
	7日(水)～	放課後	学級執行部によるアンケートのまとめ
10月	28日(水)	学活	「学級生活を見直そう」(本時)
11月	4日(水)	学活	「後期の学級組織づくり」

4 本時について

(1) ねらい

- ア 自分たちの学級生活について、課題意識をもって見つめなおすことができる。
- イ 学級の課題について、改善への意欲をもつことができる。

4 本時について

(2) 展開

段階	時間	学習内容	学習活動	留意点 (支援)	研究とのかわり (☆) 評価(◎)
導 入	5 分	1 本時までの活動の想起	・学級生活について、考えてきたことを思い出させる。	・学級の組織替えとともによりよい学級生活を送るために、これまでの生活を振り返ってきたことを確認する。	☆あいさつ
		2 学習課題設定	・学級執行部が振り返りアンケートの成果を報告し、学習課題を発表する。	・資料プリント配布 ・紙板書	
		学級生活を見直そう			
展 開	3 8 分	3 学級生活の振り返り結果の確認	・ここから議長が進行する。 ・アンケートによる学級の課題を学級執行部が報告し、話し合う内容を提案する。 ○重点的に改善に向けて取組む点を確認し、その改善策を決定する。	・紙板書 ・学習シート配布 ・学級執行部の提案について、補足をする。 ・課題は学級として最大3個で挙げさせる。	☆情報を伝える
		4 学級の課題の焦点化	・一人ひとりが挙げられた課題の中で、重点的に改善に向けて取り組んで行く点を1つだけシートにまとめる。 ・班ごとに話し合う。 ・班ごとに発表し、全体で課題を絞り込む。	・机間巡視をして個別に支援する。 ・机間巡視をして、班の話し合いを支援する。 ・黒板書記をしながら、議長を支援する。 ・話し合いの流れを見ながら、学級執行部から腹案を出させる場合もある。	◎自分たちの学級生活について、課題意識をもって見つめなおすことができたか。 (観察・シート) ☆自己開示 ☆他者を理解する ☆情報を伝える
		5 課題の改善策の立案	・改善策を一人ひとり考え付箋に書く。 ・改善策を班ごとに話し合う ・班ごとに発表する。 ・班の案について、質問を取る。 ・改善策を決定する。 ・議長の進行を終了する。	・机間巡視をして、班の話し合いを支援する。 ・互いに声を掛け合うなど、今まで以上に互いのかかわり合いを意識した改善策にしたい。 ・改善策の決定に至らなかった場合には、学級執行部が次回に再提案するように指示する。	◎学級の課題について、その改善策を考え、改善への意欲をもつことができたか。 (観察・シート) ☆情報を伝える ☆他者を理解する

終 末	7 分	6 学習の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・シートに感想を記入する。 ・感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4名程度 ・決定したことの意味を再確認させ、実行していくことの大切さと次時から学級の組織替えをしていくことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆自己開示 ☆あいさつ
--------	--------	-----------	--	--	--

(3) 本時の評価

- ア 自分たちの学級生活について、課題意識をもって見つめなおすことができたか。
- イ 学級の課題について、改善への意欲をもつことができたか。